

令和元年度 都市部 国県事業推進担当部長の目標宣言

部長メッセージ	都市部 国県事業推進担当部長 児島 茂
<p>現在市内では、新東名高速道路や国道246号バイパス（厚木秦野道路）といった広域幹線道路の整備が進められており、その姿が次第に目に見えるものとなってきています。これらは将来の本市のまちづくりに欠かすことのできない事業であるため、その着実な整備推進に向け、国や中日本高速道路などの関係機関と調整を図るとともに、近隣の厚木市、秦野市、中井町とともに連携して、国・県等への要望活動を行って参ります。</p> <p>これらの事業には地元の皆様のご協力が不可欠であるため、事業の進捗にあわせて情報提供に努めつつ、きめ細かく相談や問合せなどに対応して参りますとともに、これらの業務にあたっては、職員それぞれの強みを活かし一丸となって課題の解決に努めて参ります。</p> <p>また、国と地方が一体となって、人口減少問題の克服やインフラの老朽化対策などに取り組む中で、効率的に市内の防災・減災対策や都市基盤整備が図られるよう、国の政策やまちづくりに関する支援制度の動向に関する情報収集に努めて参ります。</p>	
部等の主な役割	部等を構成する課等
<ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路や国道246号バイパス（厚木秦野道路）の整備、県が管理する道路、河川、砂防、公園などの整備や維持管理などの円滑な実施に向けた関係機関や地域住民等との調整 ・都市基盤整備等に係る国等の支援制度の調査、政策情報の収集 	国県事業対策課

部等の取組方針	
1	<p>【新東名高速道路高架下の利活用を図ります】</p> <p>新東名高速道路の整備にあたって、市内では高架構造による整備が進められている箇所があります。この高架下は様々な条件があるものの、一部のエリアについては有効利用することが可能と考えられることから、高架下における本市の公共公益施設の整備について、事業者、関係機関及び担当部局と協議・調整を進めます。</p>
2	<p>【新東名高速道路の整備促進を図ります】</p> <p>高速道路の整備による利便性の向上や災害時の安全・安心の確保などを図るため、現在、市内では新東名高速道路、伊勢原大山インターチェンジ、伊勢原ジャンクションの整備が進められております。</p> <p>平成31年3月17日には、厚木南インターチェンジから伊勢原ジャンクションが開通し、目に見える形で事業が大きく進捗しています。今年度は、伊勢原ジャンクションから伊勢原大山インターチェンジ間が開通予定となっており、土木・橋梁工事等が完了した箇所から舗装・設備工事が進められていきます。こうした整備が円滑に進められるよう、地元や関係機関等と調整し事業の促進を図ります。</p>

3	<p>【国道246号バイパス（厚木秦野道路）の整備促進を図ります】</p> <p>国道246号の慢性的な交通渋滞の解消、交通安全対策の向上を図るため、国により厚木市と秦野市を結ぶ全長29.1kmの国道246号バイパス（厚木秦野道路）の整備が進められています。</p> <p>整備が計画されている区間のうち、平成30年度までに13.6kmが事業化されておりますが、未だ事業化が図られていない区間があることから、引き続き、秦野市、厚木市、中井町と連携し、全線事業化、早期整備の促進を図ります。</p>
4	<p>【都市計画道路西富岡石倉線（県道603号）の整備促進を図ります】</p> <p>市内の交通ネットワークの構築を図るため、新東名高速道路 伊勢原大山インターチェンジへのアクセス道路となる都市計画道路西富岡石倉線（県道603号）について、事業者である神奈川県と調整し整備の促進を図ります。</p>
5	<p>【神奈川県が所管する事業の円滑な整備促進を図ります】</p> <p>神奈川県が所管する道路、河川、砂防、公園などの整備促進に向けて、要望活動を実施するとともに、適正な維持管理について関係機関と調整を行います。</p>

中期戦略事業プラン(計画期間:平成30年度～令和2年度)「主な事業」の目標値

事業 番号	主な事業	事業指標	当初水準	平成30年度 実績見込値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	所管課
34-102	広域幹線道路等整備促進事業	広域幹線道路等の整備促進	整備促進 (平成 29 年度)	整備促進	整備促進	整備促進	国県事業対策 課

※各年度の目標値は、計画策定時(平成29年度)に設定した数値です。

なお、中期戦略事業プランは、令和2年度に改訂します。